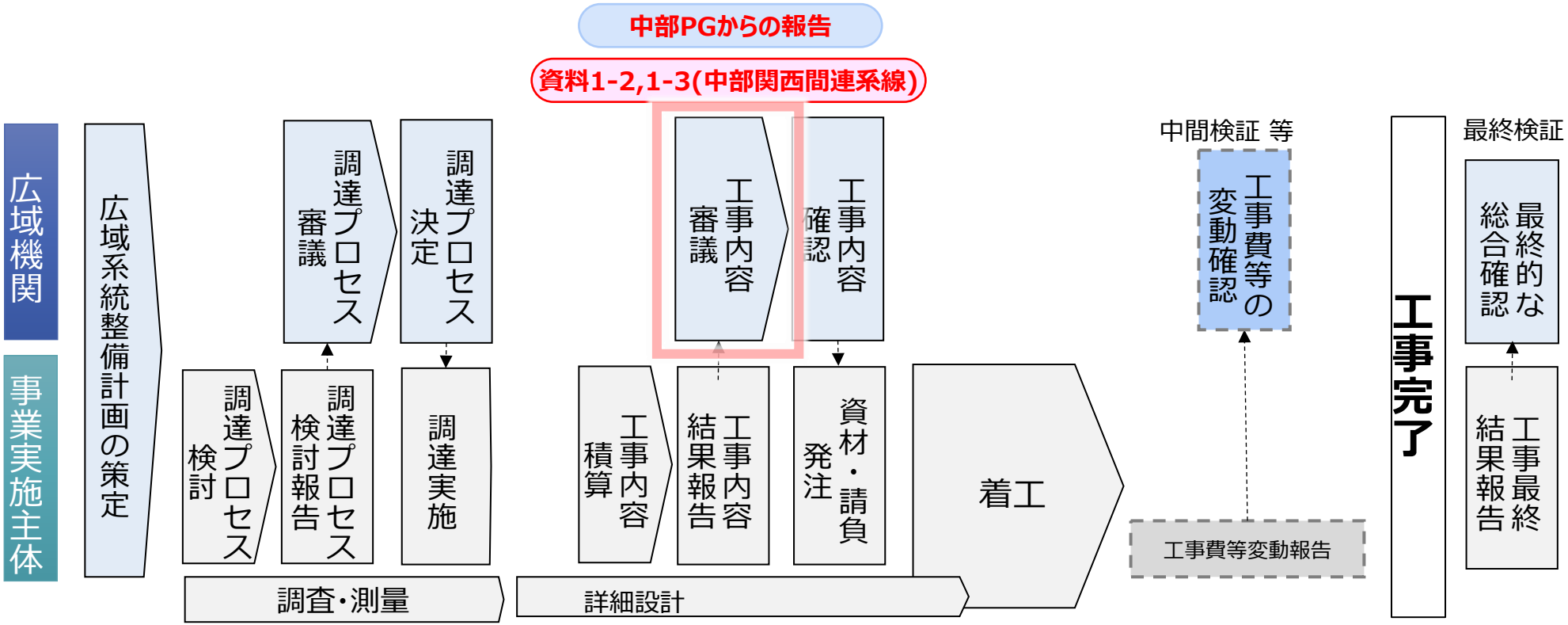
「中部関西間連系線に係る広域系統整備計画」における工事内容（工事費・工期）について

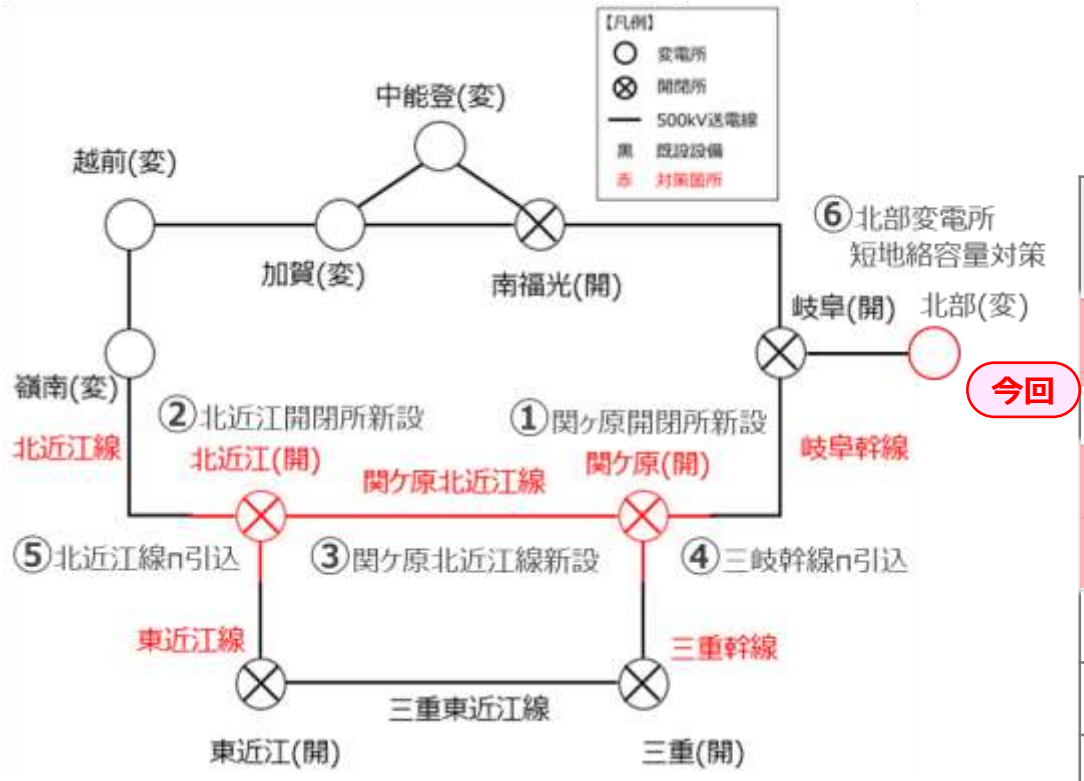
2026年 5月 27日
広域系統整備委員会
計画評価及び検証小委員会事務局

今回の検証小委の内容

■ 中部関西間連系線について、事業実施主体である中部PGから工事内容（工事費・工期）確認の申し出があった。中部PGからの報告内容をご確認いただきたい（資料1-2、1-3）。



（参考）中部関西間連系線に係る広域系統整備計画（工事概要）



◆**費用の概算額**　1,218億円
　工事費の概算額　590億円
　運転維持費の概算額　628億円

◆**工事完了予定時期**　2030年6月

◆**事業実施主体**　中部PG、関西送配電

	個別工事件名	事業実施主体
①	関ケ原開閉所新設	中部PG
②	北近江開閉所新設	関西送配電
③	関ケ原北近江線新設	中部PG
④	三岐幹線n引込	中部PG
⑤	北近江線n引込	関西送配電
⑥	北部変電所短地絡容量対策	中部PG
―	電磁誘導対策	中部PG・関西送配電
―	給電システム改修	中部PG・関西送配電
―	通信設備	中部PG・関西送配電

中部PGの「工事内容（工事費・工期）」についての検証の進め方

- 本日、中部PGから主要工事・主要設備の工事について、工事内容（工事費・工期等）を説明いただく。「調達プロセス」の審議において確認した発注方式の実施状況や、コスト低減の取り組み状況等について、ご確認いただきたい。
- 本日の審議を踏まえ、中部PGの工事内容についての妥当性・合理性の確認作業を事務局にて進め、次回以降の委員会において、事務局確認内容についてご審議いただく予定。

検証小委における確認事項

確認事項	対象の分類	確認項目	確認の観点	報告タイミング
調達プロセス	**1.発注方式**	• 発注方式選定の考え方 • コスト低減策の活用	① 「主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方」との整合 ② 基本的な考え方に整合しない場合や、基本的な考え方で複数の調達方法を想定していた場合には、市場原理の確保、コスト低減への取組	• 広域系統整備計画の策定後、早期に実施
今回 工事内容	**2.工事費**	• 発注段階の要求仕様、評価方法、工事費 • 具体的なコスト低減施策	① 実施案や過去の工事実績の概算工事費 ② 工事費が増加する見通しの場合、増加要因・理由や対応策（現地調査・詳細設計・物価変動反映による影響） ③ 具体的なコスト低減施策 ④ 調達プロセスの進捗状況	• 調査・測量等により設計精度が高まった段階で、資材又は請負発注前まで
	3.工期	• 工期の見通し • 本計画の工事完了時期への影響 • 工期短縮への取組方策	① 本計画の工事完了時期に対しての変化内容・理由。遅延する見通しの場合、対応策 ② 工期短縮に向けた事業実施主体の取組・方策 ③ プロジェクト管理体制（全体管理含む）	

中部PGの「工事内容（工事費・工期）」についての検証の進め方

- 工事内容の確認にあたっては、「広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドライン」（26年4月15日策定、以下、ガイドライン）に沿って予備費執行状況等を確認し、その合理性・妥当性を検証する。

【ガイドラインでの扱い】

＜予備費の確認＞

工事期間中に計画段階で予見困難な事象により費用増が発生し、予備費を執行する見込みとなった場合または執行した場合、事業実施主体は、その理由、対応内容、見込額、及び具体的な使途について整理でき次第、速やかに広域機関に対し報告する。このとき、対応内容は工期や工事費影響を踏まえた合理的な手段による対策であることを説明する。広域機関は、検証においては、執行理由が予見困難な事象の定義に合致するか、執行内容や執行額は工期や工事費への影響を踏まえて当該事象への対応として合理的であったか等を確認する。

【予備費の対象の判断基準】

判断基準①：災害等、事前に発生頻度の想定や対策費の算定が困難な事

判断基準②：調査・測量の結果や資材調達等に起因するもので、事業者の責に帰さない事象

判断基準③：関係者調整、法令改正等の外生的要因による事象

以上

（参考）調達プロセスにおける発注方式（中部PG）

- 中部関西間連系線について、中部PGでは、調達プロセスにおける主要工事・主要設備の発注方式として、全て一般競争が選択されており、この点については、広域系統整備計画に係る主要工事及び主要設備発注の基本的な考え方と整合していることを確認した。
- 中部PGによると、地内の調達プロセスについては、指名競争を基本としているものの、本件については連系線の整備であり、更なるコスト低減の可能性も考慮して、一般競争（公募）を選択したとのことであった。
- 以上を踏まえ、調達プロセスにおける主要工事・主要設備の発注方式として、中部PGの提案どおり一般競争で進めることとしてはどうか。

中部PGにおける主要工事・主要設備の発注方式（再掲）

項目	変電工事		送電工事		
	土木・電気工事	GIS	請負工事	鉄塔材	電線
中部関西間（中部PG）	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争

（参考）調達プロセスにおけるコスト低減策（中部PG）

- 調達プロセスにおける主要工事・主要設備のコスト低減策について、中部PGでは以下のとおりであった。
- 参考までに、現在整備中の東北東京間連系線の事業実施主体である東北NWが採用したコスト低減策と比べても、同程度のコスト低減策が検討されていることを確認した。

主要工事・主要設備のコスト低減策

			コスト低減策	中部関西（中部PG）	東北東京（東北NW）
変電工事	主要工事	土木・建築工事	VE方式	○	○
	主要設備	GIS	VE方式	○	○
			総合評価方式	○	○
		気中断路器・遮断器	VE方式	○	○
送電工事	主要工事	請負工事	予報発注方式	○	○
			ターゲットプライス方式	○	○
			カフェテリア方式	○	○
			VE方式	○	○
	主要設備	鉄塔材・電線	予報発注方式	—	○
			ターゲットプライス方式	—	○
			一括発注（共同調達）	○	○
			カフェテリア方式	○	○
			VE方式	○	○